

南区でスマート防犯モデル事業

安全・安心に暮らせる横浜に

横浜市会議員（南区）

仁田まさとし

医療局の予算審査で質疑

予算特別委員会の医療局審査が行われ、質疑に立ちました。

横浜市は、遺伝性や小児がんに不安を抱える市民のため、遺伝性腫瘍の検査対象の拡大や、小児がん経験者ドックの費用助成を行っています。また、生成AI相談サービス「よこはまランタン」を活用し、気軽に相談できる環境を整えることが重要です。市のがん対策については佐藤副市長は「早期発見・早期治療の推進を最優先に、誰もに必要な支援が届くよう整備してまいります」と決意を述べられました。

障害児者歯科診療は、平成10年に一次医療機関の拡充を主張し、当時の18力所から現在、104組みが必要で

力所に拡充されました。全身麻酔が必要な治療まで幅広く対応する二次医療機関の歯科保健医療センターは患者が増加し、負担が集中している課題があります。一次から三次までの各医療機関の役割を整理し、それに応じた具体的な体制整備を進めることが重要です。

アレルギー疾患対策は、令和7年度の医療局予算に明確に位置付けられ、市として初の実態調査が行われました。「正しい情報にたどり着きにくい」などの課題に対応するため、県の拠点病院である「みなと赤十字病院」と連携を深め、同院

横浜市会議員（南区）

仁田まさとし

今年度の予算案で「スマート防犯モデル事業」が計上されました。近年、犯罪の手法は多様化・巧妙化し、刑法犯認知件数も増加に転じています。自治会町内会など

500灯を、照度自動調整機能や無線通信機器がついたスマート防犯灯に付け替え、その一部には防犯カメラ機能も搭載します。

課題となっています。昨年、予算案において、公明党横浜市会議団から「防犯計画の改定と、その実効性を高める

また、小学生に「見守りタグ」を配布します。小学生に「見守りタグ」を携帯してもらうことにより、タグセンサーとスマート防犯灯が反応し合

同事業では、令和8年度に南区と青葉区でモデル事業を実施します。モデルエリア内の防犯灯約



仁田まさとし プロフィール

- 政策経営・国際戦略・行財政・総務委員会 副委員長
- 基地対策特別委員会

◇施政方針は「動く、創る、変える。」

ホームページ <http://www.nitta-mj.jp/>

Facebook X ライン 情報発信中

「早期発見・早期治療の推進を最優先に、誰もに必要な支援が届くよう整備してまいります」と決意を述べられました。

障害児者歯科診療は、平成10年に一次医療機関の拡充を主張し、当時の18力所から現在、104組みが必要で